

付録2 よくある質問 (FAQ)

(1) メキシコへの進出を考えていますが、大使館等の問い合わせ先はありますか？

メキシコ経済省駐日代表部の連絡先は以下のとおりです。

- メキシコ経済省駐日代表部（在日メキシコ大使館別館内）
東京都千代田区永田町2丁目15-2 3F
Tel : 03-3506-6681
Fax : 03-3506-6722
E-mail : consultoriatokio@economia.gob.mx

(2) グアナファト州には日本企業が多く進出していますが、研修施設はあるのでしょうか？

グアナファト州に進出する魅力の一つに、州立の職業訓練センターがあります。INSTITUTO ESTATAL DE CAPACITACIÓN (IECA) は、全州 28 ヲ所に設けられており、今後その数は増加することが見込まれています。

グアナファト州は元々、イチゴやブロッコリー等の農作物の生産で有名な地域で、企業や工場 で働いた経験のない人がたくさんいます。そのため IECA では、工場 で働ける人材を育成し、進 出企業が労働者のスキル不足に困らないよう対策を講じています。

このトレーニングの特徴は、進出企業が自社の生産設備に使用できるようなプログラムを学生 に提供できることです。また、工業高校最終年の生徒を対象に、卒業後に雇用することを前提に その企業専用の訓練プログラムを実施することができます。プログラムは有料ですが、州から一 定割合の補助が出ます。

グアナファト州では、約 1 年後に工場を稼働させる企業へヒアリングを実施し、同社の需要に 見合った人材育成をスタートさせます。州職員は、米国・ドイツ・日本等の高水準の人材を求め る国々の企業に対応できるよう、先進国の大学や研究機関へ短期留学し、その学びをトレーニ ング・プログラムに反映する努力を行っています。

グアナファト州には、新たな雇用機会を求めて、別の州からも人材が集まってきます。これは 外資企業の集積が拡大している一因だと思われます。

(3) メキシコでの住環境を教えてください。

住宅で最も気になるのはやはり防犯対策ですが、警備員が24時間常駐しているマンションもしくは区画が塀で囲まれた集合住宅（privada）が通常の選択肢となります。メキシコシティ以外の地域においても、日本人が多く居住する集合住宅が存在し、その周辺にはスーパーやレストランが完備されていることもあります。一方で、塀で囲まれた環境でも、外を歩いている時に軽犯罪が発生する場合がありますため、注意が必要です。

日本でいう不動産屋のようなオフィスを構えた仲介業者は少なく、会社ではなく個人として代理人をやっている者も多いため、信頼できる仲介者を見極めるのは容易ではありません。物件選びの際は、信頼できるルートでの代理人紹介とともに、できるだけ数多くの物件を見て、セキュリティが形だけでなく実際に機能しそうか否かを自ら確かめるとよいでしょう。

最近インターネットでも空き物件情報を簡単に入手できるため、興味がある物件の空き情報を代理人に問い合わせ確認するという方法もとれます。また入居後、設備等に不具合が出たり、水やガス、電気の請求額が実態と異なることもあるため、事前に大家と話をし、入居後も良好なコミュニケーションを取れそうだという感触が得られるとより望ましいです。

(4) メキシコの治安に関する情報はどこで入手できますか。

全国的な治安・災害・疾病等に関わる安全情報は、日本国外務省の海外安全ホームページ（https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsbothazardinfo_264.html#ad-image-0）または在タイ日本国大使館のホームページで入手可能です。

また、渡航前に外務省のたびレジ（<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>）に連絡先を登録すると、緊急時に情報提供を受けることができます。